

俺と睡眠

book-fukunokami

「俺も寝るんだ」

俺は黒い犬に向かって叫んだ。

俺は昨日はよく寝れなかった。

「あと1時間、あと1時間寝たい」

「わん、わん、わん、だめだわん、雪かきをあるわん」

黒い犬が言った。

「いやだ、俺は寝るんだ」

俺の眠たさは極限だった。

「寝ちゃだめだわん、寝ちゃだめだわん」

「いや帰って寝る」

「寝るわん、寝るなわん」

「おやなんだか気持ちよさそうな枕が」

どうやら俺は黒い犬が枕に見えてきたらしい。

「だめだわん、もう帰って寝ろわん」

よやっと黒い犬の御帰りの御許しが出たのだった。